

施設種別 セラバイタルティーゴ 導入施設レポート

<病院> 脳神経血管疾患リハビリに機器による運動を積極活用中

弛緩性麻痺患者※1には、運動の賦活を目的として脚を動かしてくれる他動運動モード※2を使用しています。また、痙性麻痺患者※3が歩行練習に移行した際には負荷をかけた抵抗運動モード※4を使用し、追加で逆回転の後ろこぎも必ず行います。脚を上げる動作と筋力を向上させ、ぶん回し歩行※5を防ぎ適切な歩行の再習得のためです。機器を用いたペダリング運動は通常の歩行訓練に比べて歩数が容易に多くなるため、セラバイタルを積極的に活用しています。

<東京都 病院 理学療法士>

※1 弛緩性麻痺: 筋緊張が弱くなり運動麻痺がある状態 ※2 他動運動モード: セラバイタルの機能。内臓モーターによりペダルが回転する ※3 痙性麻痺: 筋緊張が異常亢進し運動麻痺がある状態 ※4 抵抗運動モード: セラバイタルの機能。自分の筋力でペダルをこぐ。負荷調整ができる ※5 ぶん回し歩行: を前に進めるときに痙性片麻痺、痙性下肢単麻痺に見られる股関節を中心に振り回す歩行

<老健・デイケアサービス> 他動運動～軽い抵抗運動が必要な方にぴったり！

サイクルレーナーは6台導入していますが、そのうちの4台がセラバイタルです。疾患別ではなく、目的別に使い分けています。他動運動または軽い抵抗運動が必要な方にはセラバイタルを使用し、高い運動強度※5が必要な方には他の2台のアップライト型※6、リカンベント型※7のサイクルレーナーを使います。当施設の利用者の身体状況の傾向としてセラバイタルの対象者が70%を占め、セラバイタル4台がフル稼働しています。

セラバイタルは車いすのまま、または、肘置きのある椅子に座り運動するのですが、運動中に意識障害が生じたとしても転倒事故の可能性は低く、少しでも転倒リスクのある方はセラバイタルを適用しています。

活動性が低く訓練に気持ちののらない方でも脚を置くだけで他動運動が実施できますので、他のリハビリへ繋げるためのステップとしても活用しています。<埼玉県 老健施設 理学療法士>

※5 運動強度: 運動の負荷やきつき ※6 アップライト型: 自転車と同じようなサドルに乗るタイプ ※7 リカンベント型: 背もたれ式の座椅子に乗るタイプ

<デイサービス> 利用者のモチベーションがアップ! 省スペースで活躍するオールラウンダー

画面が大きく見やすく、ゲーム機能もあるため楽しく運動ができ、利用者のモチベーションアップに繋がっています。比較的元気な方でもセラバイタルの運動ゲームをするために通所される方がいます。

歩行改善のために筋力・持久力アップが必要な利用者は負荷を設定した抵抗運動モードを使用し、関節可動域維持が必要な方には他動運動モードのみ行います。抵抗運動・他動運動が1台で実施できること、機器自体が大きいことから限られたスペースでの運動機器として高く評価し、導入しました。<東京都 デイサービス 機能訓練指導員>

<障害者施設> 車いすのまま運動。可動域の維持、浮腫、筋緊張の軽減に

医療的制限がない利用者全員に他動運動モードで脚を動かしてもらいます。運動後に脚を車いすに戻す際に、筋肉や関節が柔らかくなり動きやすくなっているのがわかります。足こぎで車いす移動ができる利用者は移動速度が速くなり施設内をスムーズに移動する様子が見られます。浮腫がやわらぐ方もおられ、これは脚を動かすことによる血流の促進のためだと思います。以前使っていたサドル付きのサイクルレーナーでは運動前後で2回の移乗が必要でスタッフの負担が大きかったため、車いすのまま運動できるセラバイタルに買い換えました。スタッフの労力軽減にも役立っています。<福岡県 身体障害者施設 理学療法士>

高齢者デイサービスでのセラバイタル活用と利用者の声

デイサービス和泉府中（大阪府和泉市）

デイサービス和泉府中では、機能訓練加算の運動プログラムのひとつとしてセラバイタルを2台取り入れています。セラバイタルは負荷をかけた運動だけでなく、機器により脚を動かす運動もひとつの機器でできることから、ご利用者様の身体状況に合わせた運動を実施できます。車いすや安定した椅子に座った状態で運動することで、ご利用者様の転倒・落下のリスクも少なくなり、安心して使えます。〈山田香子センター長 談〉

[K様のケース]

K様は両膝関節術後、当初、歩行器がなければ介助なしでの歩行は困難でした。しかしデイサービスに通われ、集団体操、起立着席運動、バランス運動と併用し、セラバイタルで下肢の負荷運動を続けました。現在では歩行器ではなく、杖を使用して歩行できるようになりました。また介護度も要介護3から要支援2に改善されています。

K様「前こぎだけでなく、後ろこぎも出来て、日常生活では使わない筋肉や関節が動いているみたい。デイで集団体操とセラバイタルを継続しているお蔭で脚の痛みも軽減し、今の歩行状態を維持することができてとても嬉しい！」



デイサービスたての（東京都東大和市）

当施設では、機能訓練として起立着席運動、歩行練習などを重点的に行っており、さらに、リハ機器として他動運動モードが備わっているセラバイタルを4台導入しフル活用しています。セラバイタルの適用は股関節や膝関節の可動域制限、心臓疾患など医療的要因の運動制限がない方を対象に、ご利用者様のほとんどが好んで利用しています。これまで自力で運動ができず、筋力、体力、気力が落ち込んでいたご利用者様のADL、QOLの回復、維持、向上のために活用しています。〈小玉啓之センター長 談〉

[A様のケース]

脊髄の損傷による自律神経の障害と四肢の不全麻痺のため、長時間の座位保持が難しく、食事、入浴、機能訓練（セラバイタル）以外は、一日のほとんどをベッド上で過ごされていました。

お孫さんのバレエ（踊り）の発表会に参加するという目標のもと、1年ほどの機能訓練（セラバイタル、歩行）計画を立てて、それを実施し、実際に発表会に参加することができました。当日、長時間の座位保持ができたこと、また遠方まで外出できたことで、自信と意欲を取り戻し、現在では外出や外食などにも参加されるようになりました。

セラバイタルによる下肢筋力と体幹の強化だけではなく体力（持久力）の向上によるADL回復、それに伴う自信と意欲の復活という、QOL向上の好事例です。以来、現在もこの方の機能訓練は継続しており、通所中の笑顔が絶えません。



アビリティーズ・ケアネット株式会社
【本社】〒151-0053 東京都渋谷区代々木4-30-3 新宿ミッドウエストビル

【営業所】札幌市／仙台市／栃木市／川口市／渋谷区／葛飾区／武蔵野市／八王子市／千葉市／船橋市／横浜市南区／横浜市青葉区／平塚市／松本市／佐久市／新潟市／名古屋市／金沢市／大阪市／和泉市／西宮市／福山市／広島市／北九州市／福岡市／台北市（台湾）